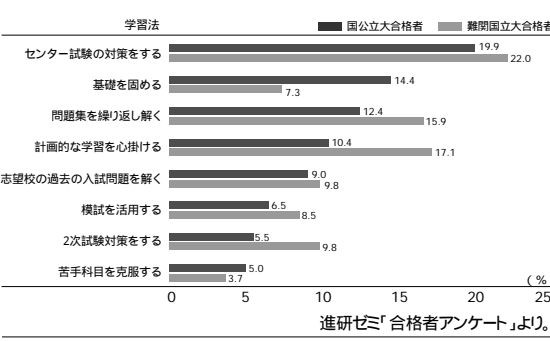


# data for academic and career counseling

## 進路指導に役立つ教育データ集 3 受験指導用資料

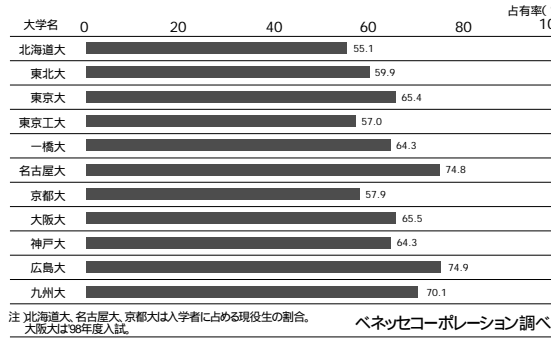
複雑化する大学入試の現状について  
分かりやすい資料を生徒に提供して  
理解を深めさせることが  
必要になる。一方で、入試の  
制度面だけを気にさせるのではなく、  
目標への意欲を高める工夫も必要だ。

### 合格者の秋以降の追い込み学習法



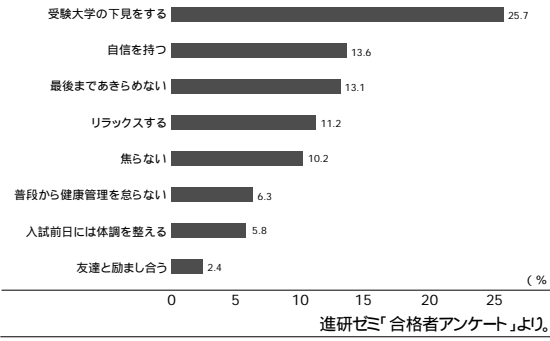
「センター試験の対策(出題傾向、マーク式対策など)」が最後の追い込みにも効果的と言えそう。基礎固めができれば、問題演習を計画的に。

### 合格者に占める現役生の割合 ('99年度)



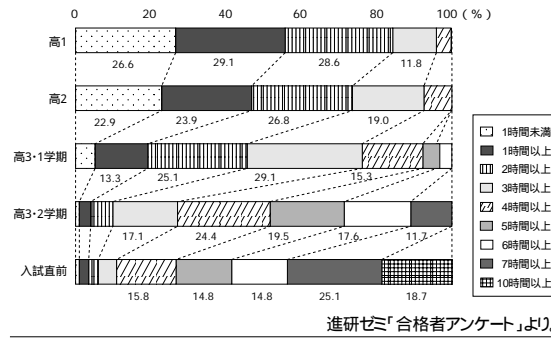
難関大と言っても、合格者のうち6割前後、多い大学では7割以上が現役受験生となっている。この割合は年々増加の傾向にある。

### 合格者からの入試直前アドバイス



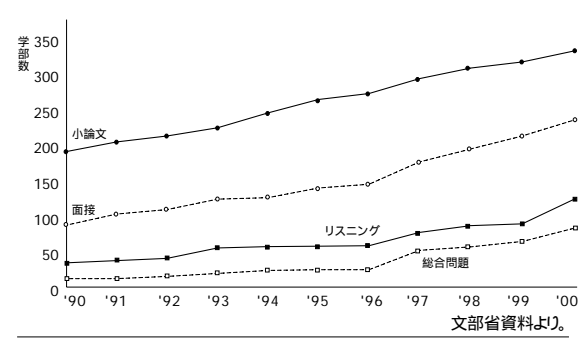
入試前日までは受験大学の所在地を確認し、キャンパスの雰囲気慣れることが大切。その上で、最後まであきらめず、自信を持って試験に臨みたい。

### 国公立大合格者の平均家庭学習時間



合格者における家庭学習時間は、入試が近づくに連れて確実に増えている。3年2学期以降は4時間以上が大半を占め、入試直前には過半数が6時間以上になる。

### 小論文やリスニングを課す国公立大の学部数の推移



筆記試験だけでは測れない能力を見る入試を課す大学・学部が増えている。小論文やリスニングの対策がますます求められる。

### 2000年度開設予定認可申請公立大

大学名(所在地)	学部・学科名	定員
公立よこて未来大 (北海道函館市)	システム情報科学部 複雑系科学科 情報アーキテクチャ学科	80人 160人
山形県立保健医療大 (山形県山形市)	保健医療学部 看護学科 理学療法学科 作業療法学科	50人 20人 20人
石川県立看護大(石川県河北郡)	看護学部 看護学科	80人
岐阜県立看護大(岐阜県羽島市)	看護学部 看護学科	80人
島根県立大(島根県浜田市)	総合政策学部 総合政策学科	200人
広島県立保健福祉大 (広島県三原市)	保健福祉学部 看護学科 放射線学科 理学療法学科 作業療法学科 コミュニケーション障害学科	60人 20人 30人 30人 30人

文部省資料より。

新設大は人気の学部が多く、その意味でも競争率は高くなりかねないが、センター試験が課されず、前・中・後期日程とは別の独自日程試験のため、併願が可能である。

### センター試験を新たに利用する私立大 ('00年度)

苫小牧駒澤大	中央大	佛教大
北星学園大	東京女子大	梅花女子大
北海道学園大	二松学舎大	関西国際大
北海道情報大	明星大	神戸女子大
盛岡大	立教大	長崎純心大
共愛学園前橋国際大	相模女子大	別府大
十文字学園女子大	新潟経営大	鹿児島純心女子大
国学院大	新潟国際情報大	
多摩美大	京都産大	

文部省資料より。

センター試験利用私立大は、上記の25大学を加えて242大学560学部が増加。私立大の合格可能性を高める意味でも、センター試験はできるだけ受験するとよい。

不安を解消し、生徒の意欲を高める資料を提示  
3年生の2学期からは、志望校の入試の内容を把握し、合格のために自分が何をどれだけ努力すべきかを生徒自身に具体的に考えさせる必要がある。  
最近の入試は入試制度が複雑化し、少しでも自分の実力が十分に生かせる入試日程・方式を選ぶことも求められる。だが、あまり入試制度ばかりに目が向き過ぎると、その志望校の入試だけにしか対応できず、受験校の選択肢を狭めてしまつことになりかねない。入試の知識は必要だが、それに振り回され過ぎないようにさせることも大切だ。入試への不安を解消し、入試本番に向けて最後までがんばるような資料を提供したい。

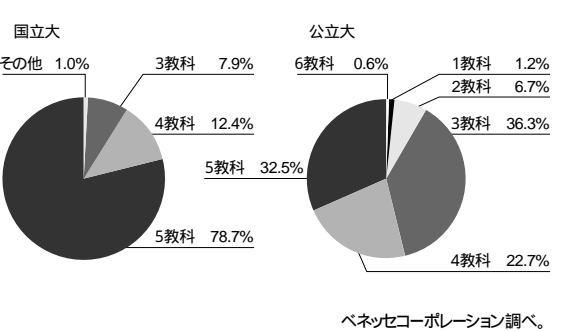
### センター試験の時間割 ('00年度)

試験日	試験教科・科目	試験時間	配点	
1月15日(土)	外国語	『英語』、『ドイツ語』、『フランス語』、『中国語』	10:00 ~ 11:20	200点
	地理歴史	『世界史A』、『世界史B』、『日本史A』、『日本史B』、『地理A』、『地理B』	12:50 ~ 13:50	100点
	数学	『数学』、『数学』、『数学』、『数学A』	14:40 ~ 15:40	100点
	数学	『数学』、『数学』、『数学』、『数学B』、『工業数理』、『簿記』、『情報関係基礎』	16:30 ~ 17:30	100点
1月16日(日)	国語	『国語』、『国語』、『国語』	10:00 ~ 11:20	200点
	理科	『総合理科』、『物理 A』、『物理 B』、『生物 A』、『生物 B』	12:50 ~ 13:50	100点
	理科	『化学 A』、『化学 B』、『地学 A』、『地学 B』	14:40 ~ 15:40	100点
	公民	『現代社会』、『倫理』、『政治・経済』	16:30 ~ 17:30	100点

大学入試センター資料より。

決められた試験時間内で解答できるように過去問題で演習しておきたい。また、当日は空き時間を作らず、できるだけ多くの科目を受験したい。

### センター試験の必要教科数別の募集人員数 ('99年度)



国立大では5教科以上を課す大学の募集人員が8割近くになるので、5教科は必須。公立大では3教科を課すケースが約3分の1あるが、併願を考えると5教科は必要。

### ●受験指導用資料を作るための4つのポイント

- 1 生徒自身に入試までの学習計画を立てさせる**  
第一志望校と併願校の入試科目、入試日程を自分で調べさせ、それに基づいた入試本番までの学習計画を立てさせる。生徒にとっては、状況を客観的に見る機会になり、教師にとっては面談に向けた生徒把握のための資料となるだろう。
- 2 自分で調べさせるために資料の場所を提示する**  
一人ひとりの生徒が必要とする入試情報を教師が個別に用意するのは難しい。そこで、進路指導室の資料を生徒が必要に応じて活用できるように、どこにどんな資料があるのかを見取り図などで紹介するとよいだろう。
- 3 学校独自の情報を盛り込む**  
受験に向けての資料に、よりリアルな情報を盛り込むため、卒業生の進学実績データなどを盛り込むとよい。先輩たちの併願パターンや、その結果などが分かれば、より具体的に入試をイメージできるだろう。
- 4 保護者の理解を得られる資料に**  
生徒以上に入試の現状について理解できていないのが保護者。そこで、生徒に配付する資料は保護者にも目を通してもらうという意識で、より分かりやすく作りたい。受験校決定の三者面談までに保護者にも入試の概要を知ってもらおう。